

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスHappiness Life		公表日		2026年2月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	子どもが安心して過ごせる環境か。	8				
	2	プライバシーに配慮されているか。	8				
	3	安全管理（事故防止、危機管理）の体制が整っているか。	8				
	4	職員の人員配置は適切か。	8		定員に対し必要とされている人員より2名多く配置している。		
業務改善	5	自己評価を毎年実施しているか。	8				
	6	保護者評価を実施、集計し公表しているか。	8				
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	評価結果を元に事業所内で評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8				
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		オンライン研修を活用し積極的に受講できる環境を整備している		
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
適切な支援の提供	11	アセスメントを実施し、記録が整備されているか。	8				
	12	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	14	こどもの適応行動の状況を、活動の記録として適切に残されているか。	8				
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	16	活動内容が共有されているか。	8				
	17	活動内容が工夫されているか。	8		日々の活動内容を児童の課題や獲得させたいスキルを想定し、個に応じたプログラムを考えている。 作品展に応募するなど子どもの個々の表現を大切にしている取り組みを行っている。		
	18	個別支援計画に基づいて、こどもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜工夫して支援が行われているか。	8				

	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、連携して支援を行っているか。	8		会議に参加できない職員にも伝わるようにノートを作成し情報共有を行っている。	
	20	支援終了後又は翌朝には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	22	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		「ふれあいテニス」を開催し地域の児童も受け入れて活動するなど行政と連携した活動も取り入れている。	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		お買い物やおやつ選びなどを通して自己選択・決定する機会を日常の中に多く取り入れるようにしている。	
	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		支援にあたる職員が送迎を行うことで、子どもの様子をなどを共有し合い、学校のコミュニケーションを取りやすい体制を整えている	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	31	活動が事業所内だけでなく、地域の施設を利用し、事業所以外での交流の機会があるか	8		毎週テニスコートでの活動を取り入れている。同法人内の事業所と合同で活動し交流の機会を設けている	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	35	支援内容・活動の様子を保護者へ定期的に伝えているか。	8		SNSを活用し活動の様子を画像や動画で個別に伝えている。	
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	保護者を交えた活動を開催する等、保護者同士の交流する機会があるか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		親子イベントを開催し、テニスを通して保護者やきょうだいが交流する機会を設けた。	

保護者への説明等	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSを活用し活動の様子を画像や動画で個別に伝えている。保護者との連絡もSNSにて行うことで細やかに連絡が取れる体制を作っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	学校・関係機関と必要に応じて情報共有しているか。	8		相談支援専門員との情報共有を密に行い、関係機関との会議を開いている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		持ち出しリュックの定期的な確認を行っている。また、全利用児童が避難訓練に参加できるよう複数回実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書や保護者の申し出により対応がされているか（該当者がいる場合）	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		全ての職員に周知されていないことが分かったことを受け、情報共有の在り方について検討します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		毎年虐待防止研修を実施しています。全ての職員が同じ認識をもてるように情報共有については検討します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	8		身体拘束を行う事例が無い。 身体拘束をしなくてもよいように日々の支援に留意している。		